

各 位

会 社 名 株式会社 CARTA HOLDINGS
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 宇佐美 進典
 (コード番号：3688 東証プライム)
 問合せ先 取締役 執行役員 CFO 永岡 英則
 (TEL. 03-4577-1453)
 (URL. <https://cartaholdings.co.jp/>)

特別損失（のれん等の減損損失）の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月5日開催の取締役会において、以下のとおり、2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）において、特別損失（のれん等の減損損失）を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年8月10日に公表しました2023年12月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	EBITDA (注)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 24,200	百万円 500	百万円 900	百万円 △1,600	百万円 700	円 銭 △63.58
今回修正予想（B）	24,111	1,301	1,798	△2,360	1,163	△93.81
増減額（B－A）	△88	801	898	△760	463	△30.23
増減率（％）	△0.4	160.4	99.8	－	66.3	－
(参考)前期連結実績 (2022年12月期)	25,940	2,418	3,036	3,035	6,093	119.20

(注) 当社は、経営上の重要な指標として EBITDA (利払い前・税引き前・償却前利益) を用いております。EBITDA は、税金等調整前当期純利益に支払利息、減価償却費、償却費、のれん償却費、固定資産除却損、減損損失及び前渡金評価損を加えた金額です。

2. 修正の理由

売上高につきましては、前回発表予想とほぼ同等となることを見込んでいるものの、営業利益、経常利益及び EBITDA につきましては、2024年12月期以降での業績回復へ向けた構造改革の一環として、固定費を中心とした販売管理費の削減への取り組みを行ったことにより、前回発表予想を上回る見込みとなっております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回るものの、下記3に記載のとおり、特別損失（のれん等の減損損失）の計上等を見込んでいることから、前回発表予想を下回る見込みとなっております。

なお、配当金につきましては、1株当たり中間配当27円及び期末配当27円の合計54円を予想しており、2023年2月13日に公表した内容からの変更はございません。

3. 減損損失の内容

当社は、2019年1月1日付の株式会社サイバー・コミュニケーションズとの経営統合の結果、アドテクノロジー事業の超過収益力として、のれん及び技術関連資産を計上しておりました。当該事業において、外部環境変化の影響を受けたこと等により、取得時点における事業計画の達成が困難と判断されたことから、のれん等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,463百万円）として特別損失に計上することといたしました。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上